

# 春のお彼岸

## ◇意味◇

「彼岸」本来の意味は煩惱を脱した悟りの境地のことをいいます。三途の川を挟んで、我々が住んでいる世界を此岸（しがん）といい、向こう側の世界を彼岸（ひがん）といい、この期間に「六波羅蜜（ろくはらみつ）」の修行を行うことで「この迷いの岸である現実の世界（此岸）からあちら側の悟りの世界（彼岸）」に到達できるといわれています。彼岸はその修行をする期間でもあります。

## ◇期間◇

春分の日を「中日」として前後3日間を合わせた計7日間をさします。

3月18日 彼岸入り

3月21日 春分の日(中日)

3月24日 彼岸明け

## ◇お墓参り◇

ご先祖様に感謝の気持ちを込めて、墓石をきれいに洗い周辺を掃除し、ご先祖様の好物やお菓子などを供え、お花や線香を手向けます。家族そろってお墓参りに行くことは子供にご先祖様を大切にすることを教えることに、とても良い機会になるでしょう。

## ★★★★★豆知識★★★★★

墓地には西向きと東向きの区画があります。東向きの区画にお墓を建てることで、浄土である西に向かって手を合わせて拝むようになります。そのため東の区画を好まれる方が増えました。

## ◇ぼたもち◇

なぜ春のお彼岸に「ぼたもち」をお供えするのでしょうか？

その由来には諸説がありますが、古くから小豆の赤い色には魔除けの効果があると言われており、邪気を払う食べ物としてご先祖様にお供えされてきました。また、「もち米」と「あんこ」2つのものを「合わせる」という言葉の語呂からご先祖様の心と私達の心を「合わせる」という意味もあるそうです。

